

事業所名		Brighten School Daikanyama				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	3 月	11 日
法人（事業所）理念		子どもたちが将来、世界で活躍できる” World Citizen” になれるように、私たちは一人ひとりの特別な力に目を向け、その成長を大切にします。 言語力や積極性、自信、思いやり、創造力、主体性など、さまざまな力を育てることで、子どもたちが自分らしく輝けるようサポートします。									
支援方針		・子ども達が主体的に学ぶ中で、個性や才能を伸ばしていきます。子どもの個性を全て受け入れ、尊重します。 ・興味のあることに取り組むことで好奇心を満たし、探究心や自主性を育みます。 ・遊びを通して社会性を身につけること、芸術や音楽を通して創造力や表現力を育むこと、手先を使ったり、運動を通して身体的発達を促すこと、論理的に考える経験を積み、認知面の発達を促すことを支援します。									
営業時間		平日	9 14 時 15	30 00 分 00	12 14 時 17	35 55 分 00	送迎実施の有無	なし			
営業時間		土曜日	9 11 時 13	20 05 分 50	10 12 時 15	55 40 分 25	送迎実施の有無	なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・「自分で服を着る」「手を洗う」「自分の持ち物を準備する」などの身辺自立に向けた支援をします。子どもが「自分でできた!」という成功体験を積み、自信や意欲を持てるように支援します。（何をするのか、どうやってするのか分かるように目で見てわかる手順表なども使用します。） ・食具を使い、自分で食事をすることができるよう支援します。「食事は楽しい!」と思えることを優先しつつも、遊びの中で食具を使うことを練習する、クッキングなどの活動を通して食材に興味を持てるようにする、口の周りの筋肉を使う遊びなどを通して咀嚼、嚥下（感覚過敏等に配慮しながら）機能の発達に向けた支援をします。 ・保護者様と連携を図りながら、生活リズムを整えたり、トイレトレーニングも実施します。 ・就学を控えた時期には、時間を意識して行動することができるように支援します。									
	運動・感覚	・様々な運動用具を用いて体幹を鍛え、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指します。また自分が思った通りに身体を動かすことができるよう、必要な筋力や認知力を向上させてボディイメージを整えます。スモールステップで成功体験を積みながら、取り組んでいけるようにします。 ・季節や乗り物、食べ物など様々なテーマに基づいて活動を行い、子ども達が楽しいと思いながら取り組むことを大切にします。									
	認知・行動	・芸術やごっこ遊びなど楽しく活動する中で興味の幅を広げ、色や数字、文字などの様々な基礎認知の向上を促します。 ・自立に向け、目で見てわかる工夫も取り入れながら、子ども達が「するべきこと」を理解し、自分で考えて行動していけるように支援します。 ・ABA（応用行動分析）の手法を用い、好ましい行動は褒めることで強化し増やしていく、好ましくない行動（問題行動）は、消去していく支援を行います。成功体験や褒められる経験を積むことができる支援方法の為、子ども達の自己肯定感も向上します。									
	言語コミュニケーション	・コミュニケーションの土台となる「伝えたい気持ち」を育む為に、子どもが自分の要求や気持ちを発信することで、思いが伝わる心地よさを感じられるようにします。 ・遊びや活動の中で、インリアルアプローチ（言語コミュニケーションのアプローチ）の手法を使用し、言葉の獲得、語彙を増やす、文章の組み立て方法を知るなどのコミュニケーション能力の向上に向けた支援をします。（子どもの特性や発達段階に応じたコミュニケーション方法を獲得していけるように支援します。） ・言葉でのやり取りが可能になった子どもには、相手の気持ちを考えながら、コミュニケーションをとることができるように支援します。									
	人間関係社会性	・レジャエミリアアプローチ（イタリア発祥の子ども達が主体的に学ぶ事を理念とした教育法）を取り入れ、子ども達の興味関心に着目し、活動に取り組みながら、社会性を身に付けていけるように支援します。 ・地域施設等での戸外活動（公園遊び、買い物体験、街探検など）も積極的に組み込み、実際に人との関わりを体験しながら社会性を育みます。 ・集団の中のルール、遊びのルールなど、「ルール」について学び、ルールを守りながら行動することができるように支援します。 ・遊びの中でお友だちの気持ちを考えたり、お友だちの話にも耳を傾けられるように働きかけ、「自分を大切にする」「お友だちも大切にすること」ができるように支援します。									
家族支援		・ご家庭での困りごとのご相談を受けたり、ご家庭での支援方法等についてアドバイスをします。（お子様の事だけではなく、保護者様自身のこと、家庭環境などお子様を取り巻く全てのご相談に応じます。） ・保護者様同士の交流の場を提供し、悩みや楽しみ、支援方法等を共有する機会を設けます。				移行支援		・公共の場や地域施設を利用する戸外活動を積極的に設け、地域と交流する機会を設けます。 ・幼稚園、保育所への移行の際には情報を提供したり、就学に向けた相談対応、就学支援シートの作成等を行います。			
地域支援・地域連携		・保育所、幼稚園等の関係機関と連携を図ります。保育所、幼稚園等の生活がスムーズにいくようなスキルを獲得していけるように支援します。 - また保育所や幼稚園等に療育的視点での提案や助言を行います。 ・地域同業種定例会へ出席して情報共有等を行います。				職員の質の向上		・療育前のミーティングで支援内容の確認をし、支援にあたります。 ・療育後には振り返りを行い、支援方法について常に検証し、最善の支援ができるように努めます。 ・スキル向上に向け、社内研修の実施、外部研修にも積極的に参加します。			
主な行事等		遠足、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、卒園イベント 保護者交流会、就学準備の会									